

刊日

岩手新聞

社団法人岩手新聞社
九五町南町平嶋島前
大 藤 藤 伊 人行發
一 島 町 濱 名 小 縣 島 前

九月十日刊
一ヶ月 三十錢
一 部 二 錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

説會決定のもの次の如し
九月十一日
同十九日
午後六時
齋藤晃候補
九月十四日午後七時
野崎滿藏候補

今日頌徳碑 除幕式

百余名臨席のもとに
盛大を極む
故消防組頭、志賀義次氏
の頌徳除幕式は今朝十時
富ヶ浦公園廣場で舉行
頭徳碑前に遺族を圍んで當
町有志百余名参列し神官
の修祇も厳かに行はれた。
の修祇も厳かに行はれた。
の修祇も厳かに行はれた。

船引場大混闘

江名船引場は目下活躍期に
入り新造、修繕アグリ船の
進水に職工働員の大童の有
様である。
引上げ修繕船また絶へなく
進水と引上げ作業に船引場
は大混闘を演じ戦時ならざ
騒る動の中にアグリ船の大
活躍期の展開は實に船引場
からの光影である。

濱だより

小名濱 魚市場調査
魚名 魚獲高 單價
カツヲ 一八九五
スズキ 八〇一 六五錢
ハモ 六六 二二〇錢
イロシ 七〇〇 七
ハモ 一〇貫 八五錢
入港船
カツヲ船 一
スズキ船 一
アグリ船 三
ハモ船 四
大敷船 三
入港船
金華山 東北二三〇 連
水溫廿度 廿三度
スナムラ 御付不良
鰻 大小 一五〇〇本 他

萩原、石川兩氏の拒否により 候補者未だ決せぬ 石城民政部會

今明日中に出揃ふか

縣會議員選舉も除きところ中に出揃ふ豫定であり、あるだけに大混闘が展開さ
十日後に切迫し、石城民政部會は引續き八日午後六時
より總會を開き既報の如く
萩原義雄、石川徳壽兩氏に
對して交渉した結果一般の
豫想を裏切り、兩氏は周囲
の事情により出馬を固辭し
て來たので極力交渉したが
動かない強硬な態度のため
遂に幹部會は假かは動搖し
て八日夜も俱樂部に於て幹
部が集合し種々協議したが
まとまらず引續いて昨日午
後一時より總會を開き平町
會議員吉田寅之輔氏に白羽
を立て立候補の交渉したが
吉田氏は考慮を約し昨夜回
答の答であるが未だ返答が
なく部會の態度は之れ又注
目されに至つた一方郡南
より大平陸田氏に交渉した
が出馬を拒否せられ候補者
難に陥つたが結局郡南から
は植田阿坂本龜太郎氏を推
すことに決定した。今明日

愈々認可指令に接す 小名濱魚市場築造

埋立面積六千五百四拾五坪
浚深面積二千七百二拾三坪
總工費 六萬四千圓

小名濱町魚市場築造計畫右工事は目下進捗中の内務
の下に本年七月二日主務省省修築工事と最も關係深い
に認可申請中の公有水面埋立、附帯として内務省小
立六千五百四十五坪、並に名濱出張所と協議して進む
前面公有水面浚深二千七百二拾三坪を通過された、
二十二坪は仙臺土木監督所が六萬四千圓の工費とし
を經由して本縣知の宛認可可て起債申請も同時に認可さ
るの指令に接した。

機船底曳網検査 厳格

愈々明十一日より實施
受檢船 二十三艘

内六艘は浚深新漁場で受檢
愈々明十一日より行はれ、十七隻は小名濱港に於
て本縣機船曳網一斉検査を行ひ、他の六隻中四隻は
ツラノ、考ふるに田子氏は
の將來延びる充分の可能性あ

政友部會公認四名 圓滿に決まる 田子健吉氏の讓歩

採りに採んだ政友部會のり此際小野氏に讓讓して自ら船船多數入港しイソシ水
公認問題は田子健吉氏の公認は田子氏が揚げ場を埋めてある。
公認の狀を付度して自身將來益々延びる意味であつ 正午に至るも續々と入港船
が讓歩しても小野平氏をて小名濱有志は涙を以て田を見、またもや小名濱港は
と意志を表明して勇々しく
も進んで讓歩し小野氏に公
認の席を譲ること、大得意
見の一致を見た。
ツラノ、考ふるに田子氏は
の將來延びる充分の可能性あ

夜店影を没す 秋風と共に

浴場の影を見よ
石城郡政友部會公認問題に
て暗雲たふよ。
ハモ船 三
アグリ船 四
大敷船 三
入港船
金華山 東北二三〇 連
水溫廿度 廿三度
スナムラ 御付不良
鰻 大小 一五〇〇本 他

天波小波

石城郡政友部會公認問題に
て暗雲たふよ。
ハモ船 三
アグリ船 四
大敷船 三
入港船
金華山 東北二三〇 連
水溫廿度 廿三度
スナムラ 御付不良
鰻 大小 一五〇〇本 他

社告

記者一名採用す
希望者本人來談
日刊 常務新聞社

◇天氣豫報 十日
今晩 南の風曇り
明日 南西風晴時々曇り
氣壓 七五十四・七

イワシの大漁

水揚げ数は地方へ
はば、今日の水揚げの半
ば、地方出たして他は常町加
工と判る想だ。

イワシの大漁

水揚げ数は地方へ
はば、今日の水揚げの半
ば、地方出たして他は常町加
工と判る想だ。

イワシの大漁

水揚げ数は地方へ
はば、今日の水揚げの半
ば、地方出たして他は常町加
工と判る想だ。

イワシの大漁

水揚げ数は地方へ
はば、今日の水揚げの半
ば、地方出たして他は常町加
工と判る想だ。

イワシの大漁

水揚げ数は地方へ
はば、今日の水揚げの半
ば、地方出たして他は常町加
工と判る想だ。

常盤論壇

とすれば結構である、吾々は政見発表演説會などで候補者の政見を数々聴いた。相當なものだと考へた、之れに應援の辯士の方々も、可成候補者の効能果ては本部に能幹が多過ぎて食傷さされた事があった、而して當選後の議員如何縣會をし有効なる縣民福祉の爲め謀る議政壇上にあるとの信念に活きたる議員の叫びを聞く。原稿によりくだらなき手前味増をつけてきたるも居る手が妙に引つ込み加減らしい、漸く政治家とは利益ないものと考へたのか。仲には萬年議員となりあわ好くば代議士を夢みる不所存のものではないが、折角縣民の期待に反し、存も圓子の組が多くなつたりでなく縣政の進展などは、望まれないのである。

吾人此處に於て今少し職責を意識し忠實に働きたい。即人格識見の士を撰びたいのである。

天下國家を匡濟し等の経倫なくも御役に立つのである。から最もあれば結構此上もないが、而して大した雄辯でなくとも立派に務まるのである。町村會議員として其の職責を果し得る人物にて事足るにあらざるや、要するに其事の信條である、野心なく、役徳など余り考へず地方民の心情、地方の利害を好く考察に入れ縣政の實績に際し民衆の意思縣政の上に反映せしむる事が出来得た

女子齒科技工見習
齒科見習看護婦
右至急募集ス
植田町
森合科醫院

御挨拶

社会的に多大の讃辭と御好評を博して居る石城中小商工互融會は小名濱方面の切なる勸説に依り今回小名濱町中島尾城寫眞館裏に小名濱方面事務所を設ける事になり、九月八日より一般事務を開始したから御承知の通り本會は最も理想的なる相互扶助機關であつて各位の好き相談相手でもあり、何卒御利用の程を御願して事務所開設の御挨拶を申上げる次第であります。

石城中小商工互融會
小名濱方面事務所
小名濱町中島尾城寫眞館裏
電話呼一〇四番



流行歌は
東海林太郎氏

お子様には
七時レコード 一枚二十五銭
：唱歌、童謡、映画説明：
浪花節 一枚六十銭より多数
蓄音器十五圓より各種
佐藤時計店
小名濱町

銘酒以上の理研酒
醉雪 壹升壹圓
多少共御試飲願います
加藤屋商店
小名濱町中町

商品豊富な店
江尻呉服店
商號 西村屋
通稱 タイモン屋
小名濱町横町
電話二十四番

石城國平町一丁目
漆器 家具 **和** 和久井屋漆器店
御引物品種々多数取揃ひお待申して居ります
是非御来店下さい
電話四〇五番

眼科専門
鈴木科眼醫院
本院 植田町古港
分院 小名濱町
磐城女子洋裁専門學院
入學毎月初め規則書呈す
平町二丁目二番地

銘酒は
清世界
店本屋水清 元賣發
番六話電町濱名小

親切 KS
船船用電氣
各種蓄電池
各種修理
各種電球
販賣
磐城小名濱町
スマヤ電氣部
ケイエス商會
店主 小濱敬太郎
電一五九

大衆食堂
時代の生んだ
小名濱町中島通り
金時バー
電話十二番

石版 活版
敏 精
長瀬芳郎印刷所
磐城座入口
小名濱中島通り

一般一科齒・科外腔口
池部齒科醫院
町名江

衛生材料
寶屋藥舖
小名濱町古港
電三九三番

廣告の御用は
廣嶺に頒布する
常磐新聞社